



津幡町河北潟におけるコウノトリ足環付け作業について

津幡町河北潟干拓地において、5月上旬までにふ化が確認された特別天然記念物「コウノトリ」のヒナについて、2羽のヒナは、その後、それぞれ順調に成長している様子が確認されました。

成長に伴い、6月3日(土)、津幡町が兵庫県立コウノトリの郷公園及びいしかわ動物園の協力を得て、個体識別用のための足環装着作業を2羽に実施しました。

今後も順調に成長すれば、6月中旬から7月中旬に巣立ちを迎える予定です。

<コウノトリについて>

ワシントン条約附属書Ⅰ、国特別天然記念物、国内希少野生動植物種に指定されています。国のレッドリストでは絶滅危惧ⅠA類、いしかわレッドデータブックでは絶滅危惧Ⅰ類に選定される絶滅危惧種の鳥類です。

<津幡町内への飛来および繁殖状況>

- ・河北潟には令和元年から当該ペアが確認されています。
- ・町内でのコウノトリの産卵は、日本のコウノトリの絶滅(昭和61年)以降、昨年に引き続き2年連続、ヒナの孵化は初となります。

<取材について>

コウノトリの静穏な環境維持の観点から、現地取材はご遠慮下さい。また詳細の内容および写真データについては、下記までご連絡をお願いします。

- ・津幡町教育委員会生涯教育課(連絡先:076-288-2125)

